

平成28年度 多職種連携協議会 市民向け講演会 2017年1月22日 開催

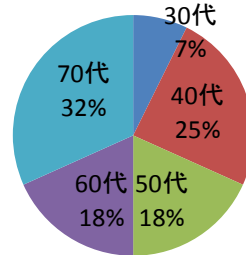
アンケート結果

参加者： 118名 アンケート回収数：82名

問1. 参加者の年代

年齢別	人数
20歳以下	0
20代	0
30代	6
40代	20
50代	15
60代	15
70代	26
80代以上	0
合計	82

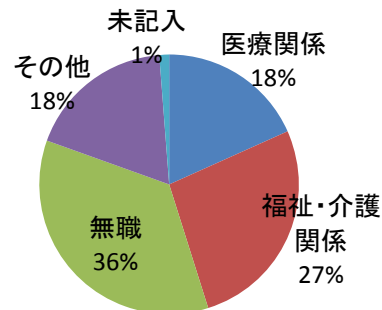
参加者年齢別人数



問2. 参加者の職業

職業別	人数
学生	0
医療関係	15
福祉・介護関係	22
無職	29
その他	15
未記入	1
合計	82

参加者の職業



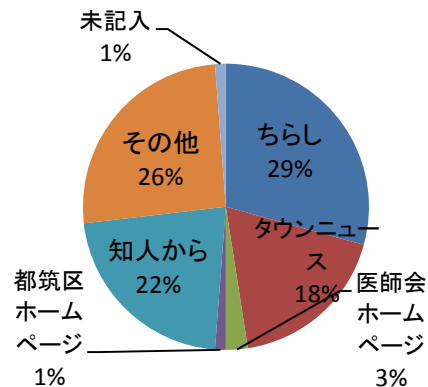
■その他の内訳

会社員	4	保育士	1
主婦	2	警察官	1
自営業	1	納棺師	1
賃貸業	1	認知症カフェ運営	1
パート	1	広報	1

問3. 講演会の情報の入手先

情報の入手先	人数
ちらし	24
タウンニュース	15
医師会ホームページ	2
都筑区ホームページ	1
知人から	18
その他	21
未記入	1
合計	82

講演会情報の入手先

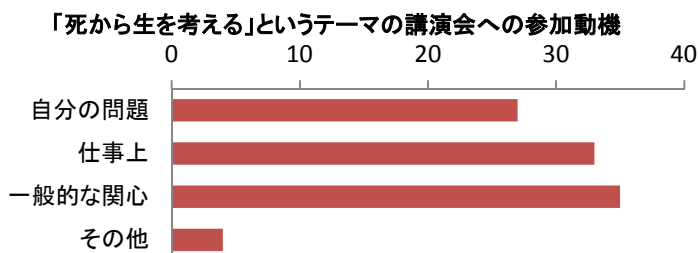


■その他の内訳

回覧板	6	連絡会	1
介護施設	2	職場	2
ケアプラザ	1	株式会社桜に問合せ	3
訪看連絡会	2	妻からの誘い	1
ケアマネ部会	1	博物館に来て知る	1

問4. 「死から生を考える」というテーマの講演会への参加動機（複数回答可）

参加動機	人数
自分の問題	27
仕事上	33
一般的な関心	35
その他	4
合計	99



■ その他の参加動機

- ・自分と主人のために
- ・「死の医学」とともに大変興味・関心がある
- ・滅多に聞くことができない内容に興味があった
- ・将来終末期医療に携わりたいと考えているので、生と死について深めたかった。現在は大学保健室の職員として大学生の「死にたい」気持ちにも寄り添うきっかけにもなると感じたので

■ <現在の自分が抱えている問題として今回のテーマに関心がある>の年齢別・職業別内訳（27名）

年齢別	人数	全体の人数	
30代	1	6	17%
40代	4	20	20%
50代	4	15	27%
60代	7	15	47%
70代	11	26	42%
	27	82	33%

職業別	人数	全体の人数	
医療関係	6	15	40%
福祉・介護関係	4	22	18%
無職	10	29	34%
その他	6	15	40%
未記入	1	1	100%
	27	82	33%

■ <仕事の上で今回のテーマに関心がある>の年齢別・職業別内訳（33名）

年齢別	人数	全体の人数	
30代	4	6	67%
40代	14	20	70%
50代	12	15	80%
60代	3	15	20%
70代	0	26	0%
	33	82	40%

職業別	人数	全体の人数	
医療関係	14	15	93%
福祉・介護関係	15	22	68%
無職	1	29	3%
その他	3	15	20%
未記入	0	1	0%
	33	82	40%

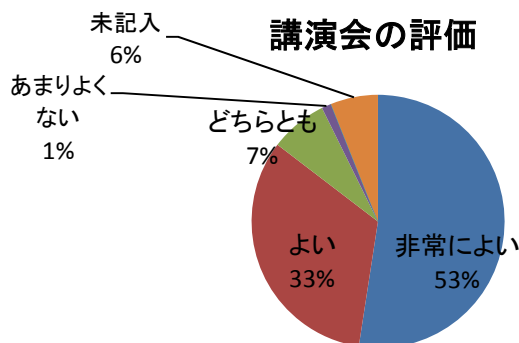
■ <一般的なテーマとして関心がある>の年齢別・職業別内訳（35名）

年齢別	人数	全体の人数	
30代	3	6	50%
40代	7	20	35%
50代	4	15	27%
60代	10	15	67%
70代	11	26	42%
	35	82	43%

職業別	人数	全体の人数	
医療関係	3	15	20%
福祉・介護関係	10	22	45%
無職	15	29	52%
その他	7	15	47%
未記入	0	1	0%
	35	82	43%

問5. 講演会の評価

評価	人数
非常によい	43
よい	27
どちらとも	6
あまりよくない	1
よくない	0
未記入	5
合計	82



問6. 今後、どのような講座を希望するか

■「死生観」や「看取り」に関すること

- ・看取りについて
- ・生死に関するテーマ
- ・グリーフケアについて
- ・「死の医学」に関心を持っている医師の講話を希望します。WHO提唱に基づき神戸の河野医師を始め、看護師 弁護士・作家等、広い分野の方々が活動しておられる組織であるが、可能であればメンバーの話を伺いたい

■「医療」について

- ・在宅医療について
- ・在宅医療の実例、問題点などについて
- ・在宅医療・在宅介護について
- ・夫が今、自宅療養中でこれから在宅医療に進んでいくと思います。そのような講座を希望します

■「老い」について

- ・残されてひとりになった後、どう生きていくか
- ・人生のエンディングに準備すること
- ・医療と高齢者について(介護、運転免許証返納など)

■その他 (感想等含む)

- ・依存症についての講演
- ・高次脳機能障害の方へのケア、特に重度の方への接し方やリハビリの方法、心のケアなど
- ・子供から高齢者まで心に傷を負っている今という時代に、人の心にどう寄り添うことができるか、自分の心をどう律することができるか、指針となるようなお話が聞きたい
- ・法話(生きる勇気につながるテーマ)
- ・認知症について。接し方など
- ・災害時の心構えについて
- ・自立、介護、施設、死のテーマは幅広くて理解が難しい。今後もテーマを決めて講演をお願いしたい
- ・「ものがたり診療所」の佐藤伸彦先生
- ・メンタルマネジメントのようなもの。山崎拓巳さんの講演を希望

問7. その他 (意見・感想)

(医療関係)

- ・とても感謝される仕事ですが、本当に強い気持ちなんだなと、私はまだまだ小さいと思った(50代)
- ・最後に先生が話された「流されてしまうつらさ」がとても共感した。先生は絵日記にして一人ひとりの死の出会いを大切にされていることは大きな学びです。私たちにとっても大切な1人の患者として患者さんの出会いを大切にしたいと思った(40代)
- ・「死化粧師」というエンバーマーのことを描いたマンガを見ていたので、実際に日本で活躍している方がいることに感動した(30代)
- ・とても感動した。みんなで死生観について話したいと思う(30代)

(福祉・介護関係)

- ・相模原市からたまま博物館に来て、聴くチャンスに恵まれ感謝です。都筑区はよい企画を持っていると思いました。一人ではない、共有している感覚を自分も忘れずにいきたい。震災を経験し、残された人々に対して、身体の復元だけでなく、心の復元がより重要と考えていることに心が震えた(60代)
- ・自分も幼少期に近親者が亡くなった時のことを思い出した。その人の分まで生きようと感じている(50代)
- ・絵日記の話、何だか分かります。頭の中が満杯なのだと思っています。私も40歳半ばです。忘れることも大事とも思えるようになりました(40代)
- ・マイクスタンドを工夫して聞こえやすくしてほしい。地域包括ケア病棟というのがないと最近聞いたのですが、どこに問い合わせればよいでしょうか?(40代)
- ・仕事上、死を迎える本人、その家族とお話をする時間が多くある。最期の時、いつもお声かけがきちんとできたか、色々な後悔もあった。本日のお話を思い出して今後がんばりたいと思う(30代)

(無職)

- ・首を痛めており、途中休憩を入れてほしい(60代)
- ・テーマに沿ってポイントをはっきりさせた内容でお願いしたい(60代)
- ・終末期医療の在り方は在宅・施設と色々あると思うが、地域の中で医療関係の各職種が連携して完結できるよう期待したい(70代)
- ・最初の方は音声が悪く聞き取れなかった(70代)

- ・復元、映写はとても良かった。親類が高齢で田舎にいるため呼べない。葬儀や墓の簡素化といった費用の問題があるなかで、復元はしたいが・・・(70代)
- ・「死」について考えることは「いかに生きるか」を考えることであると理解しました。今日のお話は映画「遺体」を思い出しました。映画上映に合わせて釜石市社会協議会の方の話を伺いましたが、街の外見は一見元に戻っていると思えるが、人の心は数年経っている今も元に戻っていないと語っておられた。キューブラーロスの5段階の心の動きはガンや認知症を宣言された方々の心の動きと全く同じだと思った(70代)
- ・感動して言葉なし。笹原さん頑張れ！(70代)
- (その他)
- ・笹原先生の悲しみに「寄り添う」姿は、本当に学びたいと思う(40代)